

報道関係者 各位

平成 24 年 1 月 30 日

【照会先】

社会・援護局 福祉基盤課福祉人材確保対策室

室 長 佐々木 裕介 (内線 2846)

課長補佐 久野 克人 (内線 2870)

資格・試験係長 高橋 勲 (内線 2845)

(代表電話) 03-5253-1111

(直通電話) 03-3595-2617

第 24 回介護福祉士国家試験での難しい用語について 表現を見直しました

～外国人候補者の受験に配慮し、127カ所を改善～

厚生労働省では、昨日（平成 24 年 1 月 29 日）第 24 回介護福祉士国家試験（筆記試験）を実施しましたが、試験問題中で使用する用語について、EPA（経済連携協定）に基づく外国人の介護福祉士候補者などの受験に配慮するため、分かりやすい表現になるよう問題を作成しました。

介護福祉士国家試験での難しい用語の取扱いについては、

1. 易しい用語に置き換えても現場が混乱しないと思われるものについては、置き換え、ふりがな、複合語の分解、平易に表現するなどの方法で見直しを行う。
2. 介護、福祉、医療などの学問上・法令上の専門用語は、原則として置き換えないが、難しい漢字にはふりがな、英字略語には正式名称と日本語訳を付け、疾病名には英語を併記するなどの改善を図る。

という方針を定めて（平成 22 年 10 月公表）、昨年（平成 23 年）の第 23 回試験から試験問題の見直しを実施し、外国人受験者などへの配慮を行っています。

今回の第 24 回介護福祉士国家試験では、試験問題中で使用する難しい用語について上記の方針に沿って一部見直しを行い、難しい漢字へのふりがなの付記や、疾病名への英語併記など、全 120 問中、127 カ所について改善を図り、分かりやすい表現になるよう問題を作成しました。

概要は以下の通りです。

1 一般的な用語への対応

易しい用語に置き換えても介護現場が混乱することがないと考えられるものについて、以下の対応をとりました。

○ 難しい漢字への対応

常用漢字以外の漢字や常用漢字であっても個々に必要と判断されるものについて、ふりがなを付記しました。

例) 石^{けん} 齷^{かつとう} 葛^{おい} 藤^お 甥^い 全18カ所

- 上記の他、難しい表現の易しい用語への置き換えや、主語・述語・目的語の明示、句読点の付け方の工夫、否定表現はできる限り肯定表現に置き換えるなど、日本語として分かりやすい表現となるよう対応しました。

2 専門的な用語への対応

介護福祉士として知っておくべき学問上法令上の用語については置き換えませんでしたでしたが、必ずしも専門用語で厳密に表現する必要がない場合には、可能な限り意味の明確化を図ったほか、以下の対応をとりました。

○ 難しい漢字への対応（1 一般的な用語への対応と同様）

例) 咀^{そしゃく} 嚼^{えんげ} 嚥^{せいしき} 下^{まひ} 清^{ぎやくたい} 拭^{たい} 麻^た 痺^い 虐^た 待^い 全54カ所

○ 英字略語への対応

例) ICF (International Classification of Functioning, Disability and Health; 国際生活機能分類)

ADL (Activities of Daily Living; 日常生活動作) 全6カ所

○ 疾病名への英語併記

例) 認知症 (dementia) 脳梗塞 (cerebral infarction)
糖尿病 (diabetes mellitus) 全47カ所

○ 外国人名への原語併記

例) マズロー (Maslow, A. H.) キューブラー・ロス (Kübler-Ross, E.)
全2カ所

別添

参考資料1 今後の介護福祉士国家試験における難しい用語の取扱いについて（平成22年10月15日公表資料）

参考資料2 介護福祉士国家試験の概要について